

## 『コロナ禍での日本ハンドボールリーグ開催』

光仁会木島病院整形外科医師 北岡 克彦

日本ハンドボールリーグ機構は、8月29日の開幕に先立ち、全選手及びチームスタッフ、役員等を対象とした血液による抗体検査と唾液採取によるPCR検査を実施しました。本検査は日本ハンドボールリーグの安心・安全な開催に向けて、リーグ開催が新たな感染源になってしまうことを避ける、選手・関係者が少しでも安心して競技が再開できる前提を整える、検査手法や結果開示を通じて、社会・スポーツ界・医学界に貢献することを目的に実施され、統一検査にて陰性結果を得ることを選手およびスタッフの試合参加・帯同の条件としました。

### ★唾液によるPCR検査

個人の唾液を一定量自己採取して行う新型コロナウイルス感染検査で、新型コロナウイルスに特異的なRNA遺伝子配列を RT-PCR法により増幅し検出する検査法です。検査時点での感染の有無を検査する検査となり、検体提出後、2、3日にて検査結果が得られます。

(写真1：唾液採取の滅菌容器)



写真1

### ★血液による抗体検査

血液を指先から一定量自己採取して行う検査で、コロナウイルス感染後に産生される特異抗体の有無を調べる定性検査となります。結果はすぐに出ます。この抗体は感染数日後に産生され、その後体内に存在するといわれていますが、現在有用性の詳細については調査をされているものであり、抗体陰性であっても感染を否定するものではなく、抗体陽性であったとしても以降感染しないという判断とはなりません。

(写真2：抗体陰性、写真3：IgG抗体陽性)



写真2



写真3

結果は日本ハンドボールリーグ全20チームの登録選手、チームスタッフ、役員、検査総数511件においてPCR陽性検体を認めず、リーグは予定通り8月29日に開幕しました。

昨年度、北國銀行はレギュラーシーズン最終週とプレーオフが中止となったものの、レギュラーシーズンの結果で6年連続7回目の優勝を飾ることが出来ました。しかしそのあとは東京オリンピックも延期となり、本当に半年ぶりの公式戦で開幕戦はどのような試合になるのかと心配してネット観戦しましたが、昨シーズンリーグ2位のソニーに快勝し、快調なスタートダッシュで安心しました。12月には金沢市で女子の日本ハンドボール選手権が開催予定ですが、万全の感染対策で無事に行われるようにサポートしたいと思います。